

「未来を創っていきましょう！」

ウィルあいち交流ネット参加グループ

日常が一変しました。

新型コロナウイルス感染防止対策による自粛要請で予定していたものがほぼ中止になりました。年度末という事で総会を中止された団体も多かったにちががありません。交流ネットも同様です。「緊急事態宣言」も出され、学校は休校となり、あらゆる施設も閉まっています。会社ではテレワークが推奨され、巣籠もりなどのワードが耳に入ってきます。生活不安やストレスによる問題も次々と出てきています。

みなさんはこの現状をどう受け止めていますか。

人との接触を極力減らす努力をと言われる中、私の周りでは、こんな状況だからこそと今までとは違うやり方を模索して活動を続けている人達が沢山います。

私も関わる子育て支援団体は、いち早く子育て応援を打ち出した飲食店のテイクアウト案内をネットで発信し、オンライン講座を次々と立ち上げ、家で過ごす子ども達やその親達へ向けてアクションを起こしています。他にも、外国籍を持つ子ども達をサポートしている団体は、宅配こども食堂をスタート。お弁当と一緒に手作りプリント教材も届けているそうです。

交流ネット会員のみなさんや、お住まいの地域でも同じ思いで行動をされている方が沢山みえるとおもいます。前を向く思考が未来を創っていくと信じています。今までの活動を通して繋がってきた人達と知恵を出し合い、協力し合うことで見えてくる未来。変わってしまった日常を冷静に受け止め、変化することを前向きに捉えて行動をしたいと思っています。

なによりも一刻も早い終息を願っております。

ウィルあいち交流ネット
会長 秋田眞由美

*さわらび会
*メンズリブ名古屋
*女性学'98の会
*メディアの会かたつむり
*ウィル10
*グループ・キートス
*2000女性学の会
*ウィル2000
*I. W. L
*ウィル・ミニ・ボックス
*ウィルD o 2002
*平成いちご会
*きらら2005
*サーティネット '05
*バリーズ18
*Step07
*トライアングル '08
*Fem.'09
*Amelie' 10
*なでしこAICHI
*A I C25
*ウィルウィル14
*ひかるよ '15
*カクラ・カクラ16
*そだね2017
(設立順)

ウィルあいち交流ネットとは…

ウィルあいちセミナー等の受講修了生による自主活動グループで組織された団体です。

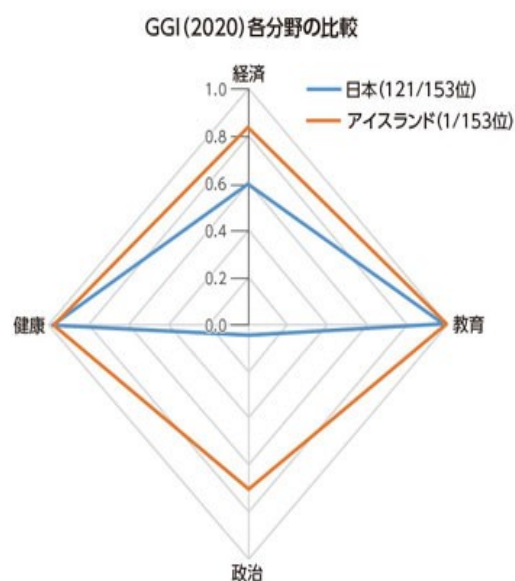


世界経済フォーラムが「ジェンダー・ギャップ指数2020」公表

内閣府男女共同参画局総務課

世界経済フォーラム（World Economic Forum）が2019年12月、「Global Gender Gap Report 2020」を公表し、その中で、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index : GGI）を公表しました。この指数は、経済、政治、教育、健康の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を示しています。2020年の日本の総合スコアは0.652、順位は153か国中121位（前は149か国中110位）でした。

各分野におけるスコアと順位は、次のとおりです。



GGI(2020)
上位国及び主な国の順位

順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.877
2	ノルウェー	0.842
3	フィンランド	0.832
4	スウェーデン	0.820
5	ニカラグア	0.804
6	ニュージーランド	0.799
7	アイルランド	0.798
8	スペイン	0.795
9	ルワンダ	0.791
10	ドイツ	0.787
15	フランス	0.781
19	カナダ	0.772
21	英国	0.767
53	米国	0.724
76	イタリア	0.707
81	ロシア	0.706
106	中国	0.676
108	韓国	0.672
121	日本	0.652

このほか、各国における男女格差を測る主な国際的指標としては、国連開発計画（UNDP）のジェンダー不平等指数（Gender Inequality Index : GII）があります。GIIは、保健分野、エンパワーメント、労働市場の3つの側面から構成されており、男女の不平等による人間開発の可能性の損失を示しています。0から1までの値を取り、1に近いほど不平等の度合いがより高いことを示します。2019年統計更新では、日本の値は0.099で、世界162か国中23位でした。

内閣府 共同参画より

【編集後記】 皆さんお元気ですか。コロナウイルスに自身が感染しないよに、他の人に移さないために、手洗いや、咳・くしゃみエチケットを励行しましょう。S・I

編集発行：ウィルあいち交流ネット

編集協力：(公財)あいち男女共同参画